

(お知らせ)

福島第二原子力発電所 1号機における
原子炉格納容器内雰囲気モニタの計測不良について

平成 17 年 5 月 25 日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

当所 1 号機（沸騰水型、定格出力 110 万キロワット）につきましては、平成 17 年 4 月 23 日より調整運転中ですが、5 月 16 日および 17 日に実施した原子炉格納容器内雰囲気モニタ* の定例点検において、当該モニタへの流量が確認できなかったため調査を実施していたところ、昨日午後 10 時頃、当該モニタに空気を取り込む配管入り口に閉止栓が取り付けられたことにより、当該モニタが計測できない可能性があることを確認いたしました。

（添付「原子炉格納容器内水素・酸素濃度計測系概略系統図」参照）

このため、本日午前 10 時 35 分、原子炉を停止し当該系統の点検を行うことといたしました。

今後、本日午後 4 時より原子炉の停止操作を開始いたします。

原因について詳細に調査いたします。

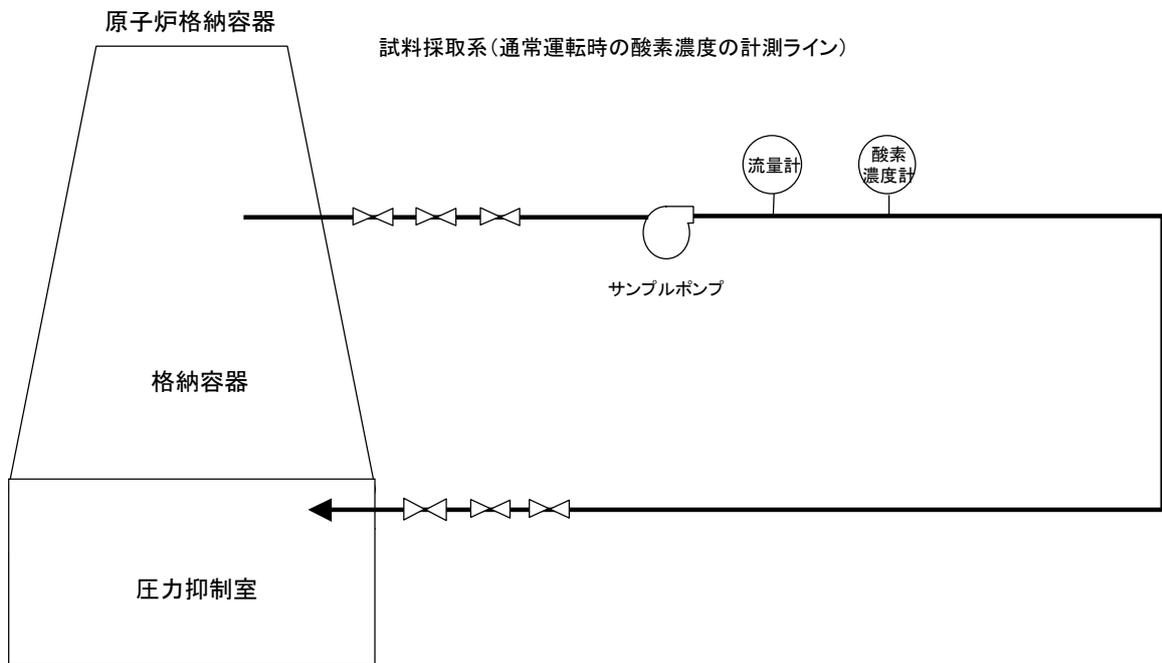
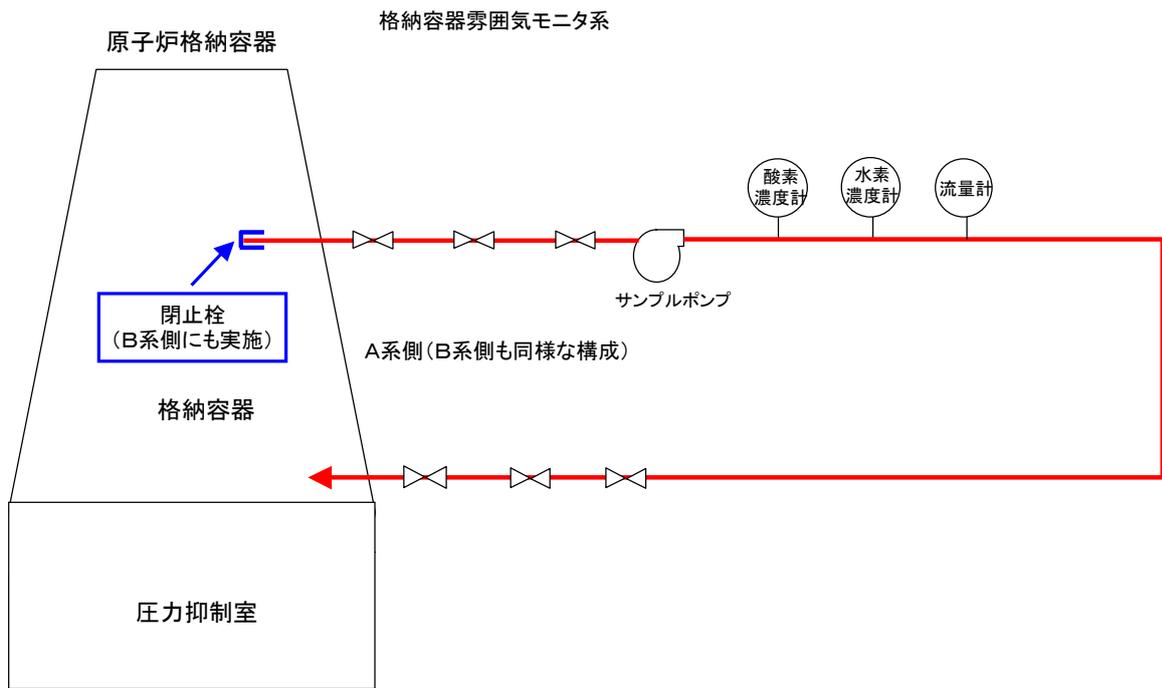
なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。

以 上

*：原子炉格納容器内雰囲気モニタ

原子炉事故時に原子炉格納容器内の水素および酸素濃度を計測する設備（A系とB系の2系統ある）。なお、通常運転時は、別の系統にて格納容器内の酸素濃度を計測している。

(お問い合わせ先)
福島第二原子力発電所
広 報 部
TEL 0240-25-1353



原子炉格納容器内水素・酸素濃度計測系概略系統図